

第2回苫小牧市地域福祉計画推進委員会 会議録

■日 時

平成30年9月25日（火） 午後1時25分から午後2時30分

■場 所

苫小牧市役所北庁舎3階 会議室

■協議事項

- (1) 第2期苫小牧市地域福祉計画の取組状況について
- (2) 地域福祉計画ガイドラインについて

■会議資料

第2期苫小牧市地域福祉計画の取組状況
事前質問
地域福祉計画ガイドラインと対応について
今後のスケジュールについて

■出席委員

本間委員長
園田委員、井上委員、宮津委員、荒木委員、松尾委員、板野委員
長田委員、松島委員、宮坂委員、高橋委員

■欠席委員

八嶋委員、新庄委員

■事務局

柳沢部長、澤田次長、大橋課長、千葉課長補佐、石橋主査

■会議概要

<開 会>

(事務局 大橋課長)

定刻より少し前ですが、本日まで出席の委員の皆様お集まりですので始めさせていただきます。ただ今より第2回苫小牧市地域福祉計画推進委員会を開催します。進行を務めさせていただきます、福祉部総合福祉課の大橋と申します。よろしくお願ひします。

<委嘱状交付>

(事務局 大橋課長)

本委員会を開催する前に、この度委員2名に異動がございましたので、ご報告させていただきます。

加賀谷壽男委員に代わりまして、苫小牧市町内会連合会の板野勝委員と白鳥忠一委員に代わりまして、苫小牧市老人クラブ連合会の長田昌聰委員です。福祉部長の柳沢より委嘱状をお渡しします。お名前をお呼びしますのでお二人は自席でお立ちのうえお受け取りください。

～委員へ委嘱状交付～

それでは、板野委員、長田委員から一言ご挨拶をお願いします。

～委員挨拶～

なお、本日は、新庄勝美委員と八嶋麻紀委員が欠席となっております。

<議 事>

(事務局 大橋課長)

それでは、ここからの進行は本間委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(本間委員長)

本間と申します。よろしく申し上げます。

それでは、会議次第により進めさせていただきますが、本日は2つの議事があります。まず、議事(1)「第2期苦小牧市地域福祉計画の取組状況」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 石橋主査)

～法改正・要綱・委員会の説明～

～資料1 「第2期苦小牧市地域福祉計画取組状況」の説明～

～資料2 「事前質問」について説明～

(本間委員長)

ただいまの説明で、ご意見・ご質問はございませんか。質問等が無いようでしたら次に、議事(2)「地域福祉計画ガイドラインについて」を事務局より説明をお願いします。

(事務局 石橋主査)

～資料2について説明～

(本間委員長)

ただいまの説明について、事前質問についても回答がなされておりますが、質問された方も更に確認があればご意見ご質問をお願いします。その他に、参加されている委員の皆さんの所属に関連するもの、また市民としてご意見・ご質問等があれば受け承りたいと思います。

(宮津委員)

この度の地震で、ほとんど施設から出ることがありませんでした。その時、一時”水が止まる”という噂がありました。私たち施設としては、水を溜めました。結果、使わずに済みました。一番最初に“白老町が断水あります”と入ってきて、それから”苦小牧市が断水になります”と入ってきましたが、私の施設はどちらかと言うと白老町に近い。断水に関しては色々な方から連絡があり、対応は出来ましたが、公園にトイレや水道が無いという事は、逆に断水した場合トイレを使わせていただくことができません。今回は停電でしたので、

電気設備のトイレが使えませんでした。普通の水道のトイレは使えました。住まいは澄川町ですが、澄川小学校は先ずトイレに関しては開放しましたが、それほど困った方々はいませんでした。逆に勇払、沼ノ端地区の方は大変だったはずです。トイレのこと（事前質問）は、気になって書かせていただきました。

非常時にもし学校などが潰れ、公園が被災した方たちの住まう場所というか、色々なものを造っても建てる所になると思うんですね、そのような所にトイレ設備がありませんとなったら、その地区の人たちは別の地区の公園に行かなければならなくなります。特に高齢化率が結構上がってきていますので、孤立してしまう方々がいるんじゃないかと今回本当に痛感しました。

避難してくる方、樽前であれば受入れましたが、施設が被災地から離れているということと、水道も断水にはならなかったのも誰もいらっしゃらなかったんです。大変幸運だったんですが、このように3日間停電で、もしものことを考えるとライフラインの中で一番大切なのは「水とトイレ」ではないかと思いました。

備蓄庫については、備蓄公園は3丁目にできて備蓄品は確かにありました。近所に住んでいるから分かりますが、そこのお知らせって意外と町内会には何も無いはずなんです。そのところも「鍵はどこにありますよ」とか「こういう時にはどうしましょう」という様な、ちょっとしたお知らせがあっても良いのかなと思いました。

（本間委員長）

ありがとうございます。宮津委員からは事前質問にあるところを、より大事さの意味を補足して説明していただきましたが、それを含めて事務局から何かありますか。

（事務局 大橋課長）

貴重なご意見ありがとうございます。今回の震災を受けまして、西部での断水の話がございます。我々も実は断水の話は聞いてはおりませんで、実際のところはデマだったということが実態でございます。こういった情報が流れることによって、市民の皆様に混乱を招くこととなりますので、我々としても他の部分で広報車を出したりだとか、ネットで呼びかけたりだとか、あらゆる媒体を使いながら周知に努めさせていただいているところではあります。なかなか停電であったりとか、情報を行きわたらせることが今回改めて難しい部

分があると感じております。いずれにしましても今回の件に共通に関係する部署と連携を密にして、市民の皆様には正しい情報提供を町内会の皆様はじめ、民生委員さん、関係機関の皆様方と連携させていただきながら、情報の提供に努めてまいりたいと考えております。

(本間委員長)

事務局ありがとうございます。今回の震災については今後の地域福祉計画を考える上でも、本当に教訓になり今計画していることが役立つ出来事だと改めて振り返る機会になるかと思えます。事務局が言われたように今後も検討していただきたいと思うところです。

特に情報というのは、すごく大事なところは新聞等で厚真、早来では「町のホームページからの情報が間違いない」とデマと区別した形で正確な情報が得られるようにされているという事があって、スマートフォンがあれば停電でも使える状況ではあると思いますが、この時代に即した正しい情報を、市が間違いなく届けられる状況等含めて考えていただければということと、もう一つ公園を含めて、断水等が起きたときに、どこが次にカバーするのか、その次の手、次の手ということも考えなければいけないと思えます。特にマンションといった高い階については、ポンプで水自体が上がらないので、公園だけでなく近くの福祉会館のトイレを利用したという方々も多かったと聞いています。逆に、公営住宅について、私どもの包括の圏域については、町内会で2階3階に住んでいる高齢者の方に町内会独自で水を運びました。そういう意味ではハード面だけじゃない、「人の動き」というのも今回教訓にしながら、どういう形で対応していけば苦小牧市民の暮らしを安心して守れるかということになると思えます。

こういった委員会の中で、それぞれの体験や見聞きしたことで、より良くなる部分についてはご発言をいただいて、取り組んでいただけたらと思えますのでよろしくをお願いします。他にはご意見、ご質問はないでしょうか。

(宮津委員)

続けて申し訳ありません。私たち今回は、園の中に暮らす人たちに対しては、非常食を準備しておりました充分間に合ったんですが、逆に大変申し訳なかったのが配食サービスしている20数名でした。安否確認も大変だったんですが、1日だけ配食サービスを中止させていただいて、社協さんには大変ご迷惑をお

掛けしたんですが、次の日から何とか準備させていただいて、高齢者世帯の配食をさせていただいたんですが、やっぱり1日目、本当に停電もありますし食材がストップし物流がストップし、ご飯を届けられないという大変申し訳ないことをしました。逆にデイサービスもさせていただいていますので、高齢者の方の見守りで2日目はこれ以上ご飯が足りない方がでないように、無理やりデイサービスを開かせていただいた。それでみなさんに来ていただいてご飯を食べいただき、良かったことに2日目には電気が回復しましたのでお風呂に入っていたことができましてけれども、安否確認ってとっても大変だと思います。

物流に関しては今回大変申し訳なかったです。利用者さんと、ちょっと避難してくる方々も合せて30食ぐらい多く用意したんですが、それを運んで行くことができないことが起きました。大変申し訳ないですが今後何かの役に立つてくれれば良いかなと思っております。

あと、高齢者の安否確認、うちの職員全員ちょっとガソリン早めに入れさせていただいて関係している全戸を回らせていただきましたが” 第一歩の確認”はできるんですが、その先何日間かお一人で過ごさなくてはいけない方々の手分けは出来てなかったなど私は逆に反省しております。そういうところの第一歩の確認はできても3日間停電しました。4日目でようやく回復しましたが、安否確認について、お互いに「横のつながり」があると、もっと私たち安心できたなと思います。

(本間委員長)

何か関連して井上委員さん、障害者の安否確認の件や食事の関係等で、今回気になったことはありますか。

(井上委員)

要支援のリストがあって、民生委員が来るのかなと思いましたが2日間、向かいの旦那の顔を見ただけで終わりでした。電気が来ていないので、私のところは電動シャッターが古いので、手動に切替えるのが壁側に付いていて結局、車が出せなかった。行く所は無いですけど、食事も別にキープしてあるので、特に不便はなかったんですが、一発目の10時に断水するというデマが飛び交ったスマートフォンにも来たんですSNSで。それで隣の旦那が飛んで来たんです。「水溜めて」と。特に苫小牧市は多かったらしいですね、全道的にも。面白

がって流している人がいるし仕方がない。ネット社会ですから止められない訳ですからね。2日目は、基地局のダウンで自宅の電話も、携帯も繋がらない状態だったんで、あきらめてじっと寝ていましたね。でもトラウマになりますね。夜中に来られると（地震が）、まず玄関を開けて見回って開かなかつたら困るので、それが結構寝不足になりました。

あれ以降、会議をやったが、高層の方はテレビが倒れたと言っていました。あと地面の方はほとんど影響なかったみたいです。

(本間委員長)

ありがとうございます。

井上委員の方から、災害を想定した要支援者のリストについて、今回どういう形でどこまで声かけができたのかを検証する中で、何が足りないのか、どうしていくべきなのか等も今後の教訓にしながら対応できたら良いのかなと思います。

他に委員の方ご意見ご質問ありませんか。

次に、議事(2)「地域福祉計画ガイドラインについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局 石橋主査)

～資料3について説明～

(本間委員長)

ただいまの事務局からの説明について、皆様からのご意見・ご質問はございませんか。資料3の地域福祉計画ガイドラインと対応についてもご意見・ご質問はございませんか。

(長田委員)

地域福祉計画を見ていると、28年度、29年度、2年にわたって実施していたことと今年度から更に継続してやるということですが、多少大きな項目については広報とか諸々の情報で一般市民にある程度分かるものもあると思うが、これだけ細かい項目やっているのにあまり周知されていないと思う。これは町内会とか老人クラブの活動ででも、これからは、地域の高齢者の健康づくりや見守りとかやっていかなければならないと動き出そうとしているが、高齢

者の数は地域では増えますが会員数はさっぱり増えないし、まして会の役員をやっていただけの方は増えるどころか現状の数を維持していくのが大変な状態なんですね。ですからこれからやろうとする健康づくりとか、地域の見守りだとかやりたいんですが、なかなか物理的にできないような状態がこれから益々続くんじゃないか。それで行政サイドでこれだけの実績もありますし、これからも継続してやっていこうということですから、できれば町内会、老人クラブとか地区の包括センター、地区にいる民生委員そういうところと一緒にやってやるような方法をしなかったら、なかなか単独独自の団体ではやっていけないと思う。そのためには今この委員会なり、行政サイドなり音頭を取るようにして、いくつかある団体を引っ張って行くやり方を取っていただければ、この計画も少しはスムーズに進むのではないかな。我々の老人クラブの活動としてもそう思うのでお願いできるのであればリーダーシップ取っていただいて各関係団体とのつながりを含めやっていただけたら良いのかなと思います。

(本間委員長)

ありがとうございます。まさに今言われている内容が今後の地域福祉計画で求められます。今年度の社会福祉法の改正において、今まで高齢者、障がい者、児童それぞれの福祉について「縦割り」だったところを行政自体が「横串」を入れ、共通事項を整理していかなければなりません。その視点は、それぞれの分野の福祉ではなく「地域」という一つの単位を中心に全体を考えていくような事であれば、なかなか進みにくいと考えられます。言われていたことが実際に苦小牧でもできる様な状況になって行かなければ進んで行かない状況だというふうに考えるところです。事務局の方でどうでしょうか。

(事務局 大橋課長)

今、まさに高齢化、人口減少というところで、地域の見守りが大変厳しくなっている、町内会の役員の担い手不足も伺っているところです。やはり、この地域福祉計画でも、「互助」という部分というものを大変重要と考えておりまして、地域の中で見守り活動を行っていく中で、やはり地域にお住まいの方、民生委員さん、それから先ほど包括というお話もありましたが、そういう方々と連携して、いかに日頃からの高齢者の見守り活動をして行くのかというところを行政としてバックアップできる部分は今後考えてさせていただきたいと考えております。

(松島委員)

確かにその意見はもっともなんですが、行政が音頭をとってやると、最後までやらされ感が残る。やっぱり地域の中で、地域に住む方が担い手になっていただくような人材育成について行政は側面からバックアップしていく、そういう方向にしないと、なかなか時間は掛かるけれどそろって行かない問題もある。

要するに地域と行政が一緒になって、同じ目線でやっていく。これから大事になっていくというふうに思います。

(本間委員長)

ありがとうございます。「地域における人づくり」というところでは、社会福祉協議会も大変重要な役割を担っています。取り組んでいる事業についてお話いただきたいと思います。

(松島委員)

例えば「安心生活サポート事業」というのがあって、4箇所町内会に関わりながら、実際に地域のつながり、見守り活動、地域の人たちが自分たちで形作っていくということをお手伝いする。それはなかなか何年経ってもちゃんとした体制とならない、時間が掛かる。そういうことが一つのきっかけになって、昨年度は研修会を3回ほど実施しまして、地域から色んな意見が出まして、それがあ程度形となって成果が見えてくるというのが今ぼちぼちありまして、例えば桜坂町内会は、非常に坂がきつい町で、お年寄りの方が坂を昇り降りして買い物に行くのが大変だということが研修会の中で話しが出て、何とかならないだろうかと協議した結果、近くの生協が宅配じゃなく、訪問でもない、移動販売車をやっており週に何回、どこどこに停まるかを検証している最中です。そういう地域の困り事がでて、何とか地域の資源と何とか結びつけて形にしていくということをやっているところです。

それから、介護の方では「いきいきポイント事業」というのがあって、在宅福祉、特に要介護まで至らない元気なお年寄りが活動してポイントを貯めるというのがあるんですが、これも活動センターだけで実施してもなかなか参加しづらいと思って、出前のような形で地域に出向いて行ってやっています。

「ふれあいサロン」についても同じで、市内で58箇所ふれあいサロンありますが、ふれあいサロンを実施したことがない地域に出前サロンといことで職員が赴いて、ふれあいサロンをやってみてそれを参考にして、地域でふれあい

サロンを実施していく方向に繋げていくとかその中で色んな地域の人たちの声を聞いて、それを新たな取り組みに繋げていくというようなことをやっている。非常にゆっくりでなかなか形は現れないですが、それでも少しずつ成果は現れているんじゃないかと考えています。

(本間委員長)

ありがとうございます。具体的な活動も含めて、人づくりについても一緒に参加していく中で行っております。今年度もそういった活動についてはよろしくをお願いします。

(板野委員)

私は日吉町町内会にいますので、失礼かと思いますが、過去に役所に対する陳情は、例えばまちかどミーティング、それから町内会がブロック会議で北、中央などがあります。そこでの陳情もあります。今回初めて地域福祉計画推進委員になって、資料を見ていますと、色々陳情の中でも共通します。例えば公園の整備のところで子ども達の遊び場がだんだん公園離れをしている、公園の再整備が必要じゃないか。例えば路上でスケボをして交通安全指導員が非常に苦勞し注意されている。それから例えば交通安全母の会というのがあります。この方々は春と秋に交通安全の指導をしております、自転車教室として交通のルールを指導しています。ところが大きい公園があっても50%しか活用されていない。過去に役所に陳情してございます。

我々の西の町内会で一番恐怖を感じておりますのは、地震による津波の問題でございます。日吉町の前浜でだいたいふるさと海岸のところでは海拔7.5m。西へいくほどだんだん低くなっていく、錦岡ですと5mを切る海拔というところもございます。今回の地震、たまたま陸地だったから苫小牧市はこのような災害で済みましたが、これがもし海であれば甚大な被害がでたと恐怖感を持っておりますのは日吉町から西の町内会です。東はどうかというと、光洋中学校、中央高校がございまして。両方で1万人以上の収容ができるはずですが、糸井小学校、マックス2千人ですから、日吉町だけでも収容しきれない。特に日吉町は年々高齢者が多くなって、とても線路を渡って桜木町の北星小学校まで避難することは出来ない。いつも陳情で話題になるのが避難所を何とか確保できないかという問題です。

結論を申しますと、市長に対してまちかどミーティング、ブロック会議、地

域福祉計画推進委員会3つの中でどこに絞って、安心安全なまちづくりを推進していけばよろしいのかご教示いただければと思います。

(本間委員長)

ありがとうございます。絞るのが良いのかそれぞれに声を上げていくのが良いのか、どうでしょうか。

(事務局 柳沢部長)

細かい話しであれば 担当課の方にさせていただきますと、すぐにできることは始めていけますのでそれが一番良いと思います。

ただ、それがある程度大きなお話で、予算のからむものですとか、中長期的に考えなければならぬ様な、今日言われて明日すぐに職員が走れば良いってものでない様な類のものにつきましては、年に一度まちかどミーティングの中で直接市長に訴えていただくのももちろんですけども町内会連合会としても要望を市の方にも出しているものもあろうかと思っておりますので、例えばそういうところに大きな問題については掲げていただいて、個々のそれぞれの町内会における解決が可能と思われるものについては、担当課の方に言っていただいて色んな形でやっていただけるとありがたいなど。その方がお互いに効率良く解決して行けるのではというふうに思います。

結局、大きな町連としての要望を出していただいても最終的には担当しているところに降りて来ることにはなりますが、市長の見解というか考え方もそこに入ってしまうので、その場合は財政が伴うものであれば財政課も交えてとかいくつかの担当部によって考えていかなければならないものは、市長の方から号令が出て、どことどこでこのミッションはやってくれという様な指令が入りますので、大きな問題はそういう形でやっていただけると私たちとしても動き易いです。

(本間委員長)

それではプラスで、この会議にどういった立場で参加されている方々が意見を伝えていくと全体として良いのでしょうか？

(事務局 柳沢部長)

もちろん、それぞれ皆さん色々な立場の方に私たちもお願いして来ておりま

すので、その立場からこの「地域福祉」という事にここでは特化してここにあり
ます色々な施策というものが、それぞれの担当部で持っている計画にもそれ
ぞれ載っており、それぞれの担当部でも詳しい専門的な計画を持っています。

その計画の中から、この地域福祉に関係あるものを全部抽出して集めたのが、
この計画なんですね。ですので色んな部の内容の施策というものが多岐にわた
り載っているというのはそういうことになります。

地域福祉に関わる施策については、この場を出していただいて結構ですし
協議していただきたいというのは、委員の皆様へのお願いでもあります。こ
こに載っている施策についてご質問いただいたりご意見をいただいたりして、
もっと良いものにしていくというのがこの委員会で議論していただきたいこと
です。

ただ、もっと先のというか、当然ここで話していただいても結構ですし、私
たちから担当課の方に、今回も事前にいただいた質問を担当課の方に「こうい
う質問が来てます」と投げかけておりますので、私たちのこの会議を通じて要
望や意見を伝えていく事もできます。こういった手法であっても皆様からいた
だいた意見について決してどこかでうやむやにはいたしませんし、取組んでい
く事には変わりありません。

(本間委員長)

ありがとうございます。

各福祉分野の施策について話しはありましたが、基本的には施策を行うため
に行っている訳ではありません。苫小牧市民が本当に安心して暮らせるために、
足りないものが無いのか、安心して暮らせるためには、どういうことが必要で
それに対して施策というのは一つの手法として利用することであってそこから
拾い上げられないものをこの会議でどうするか提案されても良いかと思ます。
全体を見越した中で是非、委員の方には意見をいただきたいと思ます。

また、今日配っていただいた道を出している「地域福祉計画策定ガイドライ
ン」の25ページの次ページの「参考」1の計画に盛り込むべき事項(1)に
「なお、これらの(①から⑤)要件を盛り込まなければ、法上の地域福祉計画
としては認められないものとなります」とあり、共通で取組むべきことなど様々
な内容等々については次ページ以降に書かれています。皆さんで検討していただ
いた地域福祉計画自体がきちんと対応できるよう精査しながら事務局等々含
めて委員の皆様と進めて行きたいと考えております。

他に何かご意見ご質問はありませんか

＜その他＞

（事務局 石橋主査）

～資料4について説明～

※今後のスケジュールについての説明

今回の推進委員会は来年の2月ごろを予定しておりますので、開催日が決まりましたら皆様にご連絡させていただきますので、よろしくお願ひします。

また、本日の議事録については、来月中にお送りさせていただきます。

以上です。

（本間委員長）

ありがとうございます。

スケジュールにつきまして、このような形で進めていくこととなります。この計画が、平成32年度までに全市町村が策定するよう目標が設定されていますので、地域を含めて話し合いを進め、様々な検討にてまた次期の計画等々に対応していただくと大変ありがたいです。委員の皆さんも資料に目を通していただき、必要なことは日頃から声をかけていただいたり、ご意見をいただいてもいいですね。（事務局「はい。」）これからも必要なこと委員一人ずつ、そして組織の代表という形で関わっていただければ大変ありがたいというふうに思います。

＜閉 会＞

（本間委員長）

それでは、これをもちまして「第2回苫小牧市地域福祉計画推進委員会」を終了させていただきます。様々なご審議・ご意見いただきましてありがとうございました。